



見附市立名木野小学校
学校便り 1月号(2)

令和3年1月29日

TEL0258-62-0091

(URL) <http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~nagino/>

(E-mail) nagino@mitsuke-ngt.ed.jp

子どもが困る時

校長 稲田 修

朝、低学年玄関前の横断歩道に立っていると、時折、子どもが声をかけてきます。先日、2年生の男の子が「先生、これ取ってください。」と言ってきました。見ると傘の柄に体操着の紐が絡まっていました。自分で取ろうとしてきたけれど、なかなか取れなくて困っていました。その子は立っているため、体操着袋の自重で紐が引っ張られ、取れなくなっていました。そこで、「玄関に行って座ってやるときっと取れるよ。体操着袋を床に置いてね、やってごらん。」と言いました。絡まっている様子から、紐はおそらく取れるだろうと判断しました。

次にやってきた1年生の女の子は「傘を閉じてください。」と言ってきました。広げてきた傘をすぼめて紐で止めることができないと困っていたのです。そこで、片手で傘の先を持ち、もう一方の手でくるくる傘を巻き取るようにする方法を見せました。「自分でやれそう？」と聞くと「うん。やれそう。」という返事。

子どもが困っているのに、手助けをしない校長です。なぜかと言うと、私はしてあげて「ありがとう」をもらうより、自分でできた時の笑顔が見たいからなのです。

1年生の女の子は、玄関で傘をすぼめていました。見守っていると、ちゃんと自分で傘を閉じられたのです。その瞬間に「自分でできたね、やったね!」と言葉をかけました。登校が終わった後、2年生の男の子の教室に行って聞きました。「紐、自分で取れた?」「取れたよ。」「やったね。自分でできたね!」

2人とも素晴らしい笑顔を見せてくれました。私も朝からとてもいい気持ちになりました。

子どもが困る時は、成長のチャンスでもあります。もちろん、不当な理由で困っている時は別です。しかし、自分の力でできることは、見守りつつやらせてあげたいと思います。難しいと思っていたことが、自分の力で解決できたときの笑顔は最高です。名木野小学校がめざす「笑顔あふれる学校」の笑顔は、そういう笑顔です。



名木野っ子アルバム

6年生を送る会プロジェクト始動（5年）



2月25日（木）に6年生を送る会を予定していますが、在校生の中心になって6年生に感謝を伝えようと5年生が頑張っています。相手のために全力を尽くすという尊い活動です。

雪遊び（1年） 1/15（金）

絶好の晴天の中、1年生が雪遊びを楽しみました。そのの運搬などご家庭の協力を得ながら、とっても楽しい活動ができました。どの子もにこにこで夢中で雪を楽しんでいました。



見附伝承館見学（3年） 1/20（水）

3年生は社会科で、昔の暮らしを学習しています。また、総合学習で耳取遺跡を調べている子どもたちもいます。実物を見ることは大事。そこで、見附伝承館さんを訪ねました。



鼓笛合同練習開始（4・5・6年） 1/27（水）～

6年生から4年生、5年生に鼓笛の引き継ぎが始まっています。いよいよ第60代名木野小学校鼓笛隊が本格的な準備に入りました。子どもたちの伝統を引き継ぐ覚悟を感じています。

